

# 旧モデルを磨く

05



岡本哲也氏は、愛車であるトヨタ・プリスターフェンダーを、自分だけの個性を演出するために、さまざまなカスタムパーツを装着している。中でも、この車には、フロントバンパーとリアフェンダーの交換が、最も大きなポイントとなっている。

フロントリアバンパーがイライラにもボリュームを持たせて、プリスターフェンダーとの一体感を高めている。スポーティなロードワークを求めているのはクレーモの車高調整キット

岡本サンがこだわったのはホイールのデザイン、深リムタイプでユーロに仕上げたかった。セレクトしたのはアサーエクスチェンジスタイルACS。ディープレも一層強調する24X18で20mmのスパーサーを入れてツライチにしている



当初、完成したフロントバンパーがイライラにもボリュームが足りなかったため、バンパー部の厚みをさらに30mmアップした。メッシュのグリルは純正加工タイプ



リアバンパーがイライラもカットしてワンオフのWRX用リアフェンダーをセレクト。そのサイズは100mmは、今では強がりの専断となったボクサーサウンドが強調されている

## ワイドな深リムホイールを履かすためのワンオフプリスターフェンダー

**BH5 D型 (GT) 岡本哲也氏**

ドレスアップのステップ1アイテムといえは、やはりホイール。しかし、そのサイズやデザインにこだわればステップ1とはいかず、ボディをモディファイしてしまふ場合がある。

岡本サンはこのBHを新車で購入後、ホイール交換を計画していた。いろいろなタイプがある中、岡本サンがこだわったのがBHではあまり見かけないワイドでなおかつ深リムタイプのホイールだ。そのためフェンダー叩き出しを考えていたが、ジムカーナを通じて知り合ったエアロテックジャパンのスタッフに相談したところ、それならプリスターフェンダーという話になって

きた。しかし、BH用のプリスターフェンダーなんて存在しない。そこでフルエアロとしてワンオフで製作してもらうことになった。

このプリスターフェンダーを見てピンときた人はけっこうスバル通。そう、デザインはGRDBをイメージしたものでフロントバンパーからリアバンパーまで全体的にポリリウムアップさせたフォルムになっている。F1130mm、R1135mmワイド化したプリスターフェンダーもまた単に装着するのではなく、リア側はガソリンキャップを跨いでドア部まで延長して違和感のない仕上げになっているのだ。もちろん岡本サン

はクレイモデルの製作時から立会い、現状の体上がり満足している。そして肝心のセレクトしたホイールはレイズのアサーエクスチェンジスタイルCS。5本スポークの深リムタイプでサイズは8Jx18。オフセット+20mm。これに前後20mmのスパーサーを入れてロードワーク&プリスターフェンダーに見合ったツライチにセットされているのだ。各メーカーから数多くのエアロパーツがリリースされているBHだが、このプリスターフェンダーキットはさり気なく存在感をアピールしてくれる。まして自分だけのワンオフっていうのも気持ちがいい。

